

BOTAN BOUFUU

～機能性表示食品対応、喜界島産の葉物野菜～

BHNボタンボウフウ粉末

● ボタンボウフウとは

◎セリ科の多年草植物で、与那国島や沖縄では、感冒、疲労回復、滋養強壮に効果があり「1株食べると1日長生きする」といわれ、伝承医薬として昔から風邪や咳止めに利用されてきました。

◎日本では主に九州南部から沖縄の海岸沿いに自生しており、海岸の断崖や珊瑚石灰岩でできた岩場に育ち、過酷な環境で風雨にも耐える非常に生命力の強い植物です。

◎BHN ボタンボウフウ粉末は、鹿児島県喜界島産のボタンボウフウを使用しています。



● 隆起サンゴの島 “喜界島”

喜界島は鹿児島県の南西諸島の一つで亜熱帯性の植物が豊かな島です。島は隆起サンゴ礁から成り、現在でも年間数ミリずつ隆起しています。この隆起サンゴで出来たアルカリ性でミネラル豊富な土壌でボタンボウフウは育てられています。その為、BHN ボタンボウフウ粉末の栄養価はかなり高くなっています。

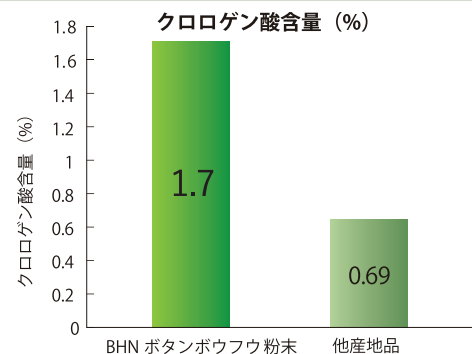


● 注目成分 “クロロゲン酸”

ボタンボウフウには、クロロゲン酸という抗酸化力が高く、脂肪の燃焼効果を有するポリフェノールが含まれています。

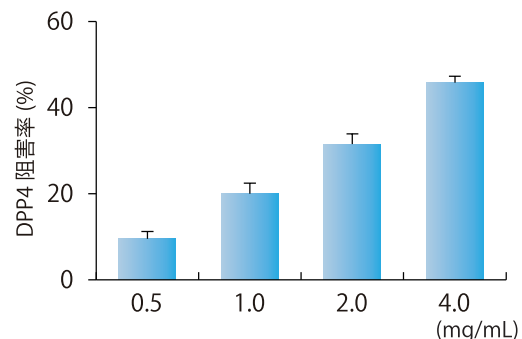
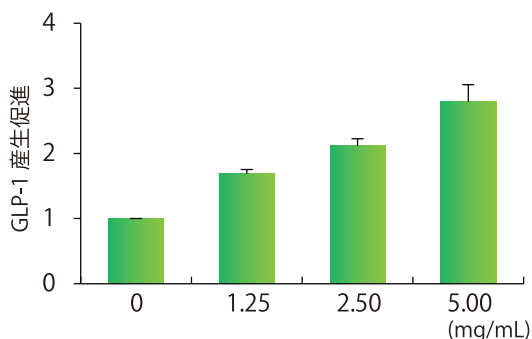
弊製品のクロロゲン酸量は、他産地品と比較すると約2倍以上も含まれていることを確認しています。

BHN ボタンボウフウ粉末ではこのクロロゲン酸を 1.7%以上で規格し、機能性表示食品の関与成分としています。



● 血糖値上昇抑制作用（メカニズム）

BHN ボタンボウフウ粉末は、GLP-1（インスリン分泌を促進するインクレチンホルモンの一種）の産生促進作用と DPP-4（インクレチンを分解する酵素）の阻害作用を有することを確認しています。これらの作用により、臨床試験で血糖値の上昇抑制効果が発揮されると考えられます。



BOTAN BOUFUU

● 血糖値上昇抑制作用（臨床試験） ※「薬理と治療」2017年4月20日発行にて掲載

◎試験方法

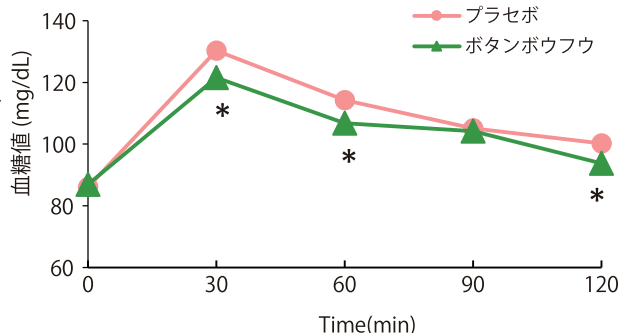
被験者：成人男女23名

摂取量：1g/日 (BHN ボタンボウフウ粉末もしくはデキストリン粉末)

評価方法：無作為化プラセボ対照二重盲検クロスオーバー試験。

被験者を2群に分け、ボタンボウフウ粉末もしくはデキストリン粉末を摂取させた5-10分後に米飯200gを摂取させ、30分、60分、90分、120分に採血を行い、血糖値の測定を行いました。

結果：米飯摂取30分、60分、120分後に、プラセボに比べてBHN ボタンボウフウ粉末を摂取した場合に有意に低い値となりました。



BHN ボタンボウフウ粉末は、食後の血糖値上昇抑制効果が認められました。食後の血糖値が高めになりやすい方などにおすすめです。

● ボタンボウフウ粉末の機能性表示について

【関与成分】

ボタンボウフウ由来クロロゲン酸（16.8mg/日）

【必要配合量】

BHN ボタンボウフウ粉末として 約990mg/日以上
※BHNでOEM受託をすると、クロロゲン酸高含有品を使用できるため、配合を少なく調整することが可能です。

【ヘルスクレーム】

本品にはボタンボウフウ由来クロロゲン酸が含まれます。
ボタンボウフウ由来クロロゲン酸は、食後に上がる血糖値を抑える機能が報告されています。

(受理製品例)

- ◆届出番号： D104
- ◆剤形： 顆粒飲料（青汁形態）
- ◆製品名：島の太陽と潮風で育った青汁

● 製品規格

BHN ボタンボウフウ粉末

項目	規格
外観性状	淡緑色～濃緑色の粉末
水分	8.0%以下
クロロゲン酸	1.7%以上
重金属 (Pbとして)	20ppm 以下
ヒ素 (As ₂ O ₃)	2ppm 以下
一般生菌数	3,000 個 /g 以下
大腸菌群	陰性

製品情報

アレルギー表示	必要なし
遺伝子組み換え	遺伝子組み換えでない
動物由来	使用していない
原材料表示	ボタンボウフウ粉末

- ◆包装…………… 内容量10kg
- ◆包装形態…………… 段ボールケース
- ◆保管方法…………… 冷暗所、湿度の低いところで保管して下さい。
- ◆品質保証期間… 製造後3年（ただし、未開封の状態）
- ◆品質管理…………… ロット毎に製品検査

2024/03 版

